

9月の園だより

れいわ ねん がついつたち かみあさおほいくえん
令和8年9月1日 上麻生保育園

9月になり 暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いていますね。暑さ対策をしながら、暑さが和らいだ日には水遊びや戸外遊びを楽しんでいる子どもたちです。引き続き体調管理を行いながら、夏の遊びを楽しんでいきたいと思います。

《9月の行事予定》

- 2日(水) わくわくデー(幼児)
- 9日(水) わくわくステージ総練習(幼児)
- 15日(火) わくわくステージ総練習(幼児)
防災訓練
- 18日(金) わくわくステージ(幼児)
- 24日(木) 園医健診(0、1歳児)
- 30日(水) わくわくデー(幼児)

※月はじめ 身体測定

※交流保育(あのねほいくしつ)

2日(水)・16日(水)

わくわくステージ

子どもたちが保育の中で楽しんでいる表現遊びを保護者の方に見ていただいたり、保護者の方と一緒に楽しんだりする事をねらいとした行事です。

《地域向け子育て支援》

30日(水) かつばひろば
～ 父親座談会 + 園見学 ～

園庭開放、室内開放、遊びの広場、親子でランチ、絵本の貸出し、子育て相談等を行っています。

《保育環境の工夫 ～室外編～》



遊びが広がるかつばハウス！

園庭にあるかつばハウスでは、お家ごっこやお店屋さんごっこで毎日大賑わいです♪

夏も終わりに近づいて、「寝苦しい」と思うことも少なくなってきたのでは？ そこで、良い睡眠のコツを伝授します。

- ①起床時刻を固定する
- ②朝の光を浴びる
- ③寝室を涼しく保つ
- ④就寝前1時間はスマホを使わない

しっかり休んで、今年の秋を充実させましょう。

麻生区役所地域みまもり支援センター

季節の花がお出迎え！

上麻生保育園の門を入ると、季節の花がたくさんあります。子どもたちは毎日観察したり声をかけたり、興味津々です。



上麻生保育園では毎年防災訓練の他、幼児クラスを中心に災害時に身を守る為の防災教育を行っています。また、年齢が違う友達と関わる中で、思いやりを育むことをねらいとした異年齢児交流「わくわくデー」を行っています。今月は2つの活動内容をお伝えします。

《 安全教育、防災対策 》

1923年の関東大震災や台風が多い季節にちなみ、9月は「防災月間」です。上麻生保育園では安全教育の一つとして、電気がつかない場面や水が出ない場面など災害時を想定し、子ども達が安心して保育園で過ごせる様に「備え」がある事を子ども達と確認しました。クラスに置いてあるランタンの場所やアルファ米について知っている子どもも多くいる中、非常用トイレでは「これがトイレになるの!？」と驚いた様子の子が多くいました。子ども達が非常時に落ち着いて使える為にも、物の場所や使い方は知っておいた方がよさそうですね。

推奨される非常食の量は 最低3日分×家族人数

水：1日3L×人数分を3日分（推奨されている量）

食料：日常食べている物をローリングストックする。アルファ米等非常食の準備

トイレ：1日5回×人数分

あくまで参考なので、家庭の様子に合わせて必要な物を用意していただけたらと思います。

地震の時はどうする??近くで火事があったらどうする??プールの中で地震が来たらどうする??など、様々な「どうする??」を想定し、子ども達が落ち着いて避難できるように毎月の防災訓練を行っています。保護者の方には訓練日に災害時伝言ダイヤルの体験をお願いしておりますので、必ずご確認ください。(ダイヤル方法は毎月15日(休日は未実施)を目安にコドモンにてお知らせしています)

《 異年齢児交流(幼児クラス) 》

幼児クラスでは、年間を通して異年齢の友達と一緒に関わりながら遊びを楽しむ「わくわくデー」を設定しています。今年度も春からコーナー遊びを楽しんできました。ブロック、粘土、缶つま、ぶられール、製作など、好きな遊びのコーナーで過ごす中で、自然と異年齢の友達との関わりを楽しむことができました。お互いに名前を覚えたり、園庭で自然と一緒に遊んだりすることも増えてきました。最近では「そう組さんすごいね!」と年上の子への憧れの気持ちを持ったり、午睡明けにそう組がきりん組、ぱんだ組の子を起こしに来てくれたりと、年下の子へ優しく接してくれる姿も見られるようになってきています。

秋以降は3つの異年齢グループに分かれておやつを食べたり、いろいろな遊びを楽しんでいく予定です。クラスとはまた違った異年齢ならではの経験を大切に、交流を深めていきたいと思っています。